



1月13日 東地申34号

「2021年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ【我孫子駅】

を行う！

我孫子駅では、2022年2月1日より車掌用ITVを設置することで、乗降終了合図の掲出を見直すことが示されています。我孫子駅は常磐線快速電車の分割・併合、成田線との接続、臨時列車に対する出発指示合図や停止位置指示合図等、常磐線・成田線の輸送の要として高い専門的知識と経験が求められる重要な駅といえます。現場では、多くの不安の声が出ています。

ITVと異常時対応は別物だ！

異常時を見据えた 体制が必要だ！



泊まりが減ると、夜間帯の対応ができるのかな…

ITVでは補えない様々な業務がたくさんあり、 異常時の体制維持に不安が残る！

自駅だけでなく他駅への応援などを想定しつつ、 十分な社員教育を行える体制を維持するべきだ！

<申し入れ内容>

1. 我孫子駅ホーム体制を見直す目的、考え方を明らかにすること。
2. 輸送障害発生時の対応について、運転整理、信号、内勤、改札の役割を明らかにすること。また、我孫子駅輸送業務に必要な知識、技能を有する社員育成の必要性、具体的育成方法について考え方を明らかにすること。
3. 天王台駅で、人身事故等輸送障害が発生した場合の我孫子駅の役割について、考え方を明らかにすること。また、同障害発生時、我孫子駅において天王台駅への応援、お客さま案内、運転整理、常磐線と成田線の接続対応、分割・併合業務等が十分に行える体制とするため、我孫子駅ホーム体制は現行とおり「4テ」とすること。
4. 我孫子駅における安全の確保及び社員がゆとりを持って働ける環境を整備する観点から、社員の意見を基に必要な設備を設置すること。

労使で認識を合わせなければ良い施策とはならない！

地本は現場で働く仲間と共に、団体交渉に臨みます！